

# 静岡市浸水対策推進プラン

(第4回改訂版)

平成31年3月

静岡市

## 目 次

1. はじめに .....	1
2. 浸水対策推進プラン .....	2
2.1. 経緯と概要 .....	2
2.2. 浸水対策の基本方針 .....	3
2.3. 浸水対策地区の位置付け .....	4
2.4. 計画期間 .....	4
2.5. 施設の整備水準と役割分担の考え方 .....	6
2.6. 対策の骨子 .....	7
2.6.1. 基幹施設対策（メニュー1） .....	8
2.6.2. 雨水流出抑制対策（メニュー2） .....	12
2.6.3. 超過降雨への対応（メニュー3） .....	16
2.7. 浸水対策推進プランの効果 .....	17

平成 18 年 2 月	初版
平成 23 年 3 月	改訂（第 1 回）
平成 24 年 3 月	改訂（第 2 回）
平成 27 年 7 月	改訂（第 3 回）
平成 31 年 3 月	改訂（第 4 回）

## 1. はじめに

静岡市では、都市部における雨水対策事業として、おおむね7年に1度（時間雨量67mm）の降雨に対応できるようにするため、市が管理している河川や下水道の幹線、ポンプ場などの基幹施設の整備を雨水総合排水計画に基づき進めてきました。

しかし、近年の都市化の進展に伴う雨水流出量の増大によって、河川や下水道の未整備の地区だけでなく、整備が進んでいる地区でも浸水被害が発生するようになってきました。特に平成15年7月と16年6月には2年連続で計画を超える雨（超過降雨）が局所的かつ短時間に集中して降り、さらに大きな範囲で浸水被害が発生しました。

このような状況を踏まえ、市は従来の雨水総合排水計画を着実に進めることに加え、公共公益施設等を利用した雨水の流出抑制を進めるとともに、市民のみなさまにもご協力をいただき、共に雨水対策を進めていくことが浸水被害の早期軽減につながるという方針のもと、平成18年2月に「浸水対策推進プラン」を策定しました。

先の平成26年10月の台風18号では、平成16年以来の大きな被害が発生し、特に巴川流域で床上、床下浸水等、甚大な被害が発生しましたが、プランを検証し、これまでに進めてきた対策効果の発現を確認することができたことを受け、実施している整備を着実に進めるため、市の重点プロジェクトに位置付け、プラン第3期（H27～H30）計画を策定しました。

平成30年7月の西日本豪雨など、近年頻発している激甚な浸水被害に対し、防災・減災、国土強靱のための3か年緊急対策を重点的に推進していくなか、本市としても継続して市の重点プロジェクトに位置付け、プラン第4期（H31～H34）計画を策定しました。

今後とも、「災害に強く安心、安全に暮らせるまち」を目指し、市民の大切な生命と財産を守るため、浸水対策推進プランに基づき、対策メニューを市民のみなさまとともに進め、浸水被害の早期軽減に取り組んでいきます。

## 2. 浸水対策推進プラン

### 2.1. 経緯と概要

平成 15、16 年と 2 年連続で大きな浸水被害が市内各地に発生したことを受け、平成 16 年 8 月に静岡市浸水被害対策検討委員会を設置し、本委員会で浸水対策を推進するための方針、計画（静岡市浸水対策推進プラン）を策定した。

平成16年8月 静岡市浸水被害対策検討委員会の設置

#### 静岡市浸水対策推進プラン

##### 浸水対策の基本方針

- ① 静岡市雨水総合排水計画に基づく整備の推進
- ② 雨水流出抑制対策の推進
- ③ 超過降雨への対応
- ④ 一、二級河川の整備促進

##### 浸水対策地区の位置付け

平成元年～16年度までの浸水被害履歴から市内41の地区を浸水対策地区に位置付け、重点投資による浸水対策を推進する。

##### 浸水対策の基本施策

###### メニュー1 基幹施設対策

- 河川・下水道の排水施設増強
- 雨水総合排水計画に基づくおおむね7年に1度の雨に対する整備

- 浸水対策施設整備計画  
浸水対策地区 41 地区に対し重点投資による対策の推進

平行して整備

###### メニュー2 雨水流出抑制対策

- 雨水貯留・浸透施設の設置  
→ 要綱の制定・改定

市所管施設	→ 計画的設置
他公共施設	→ 協力依頼
大規模民間施設	→ 指導
各戸	→ 設置促進

- 流出抑制対策重点地区実施計画  
流出抑制対策重点地区として巴川流域、下川原、登呂の3地区を指定し、市所管施設へ貯留施設を計画的に整備

- 補助制度拡充の検討  
浸透施設、貯留タンク、不用浄化槽転用施設の設置に対する補助  
(併せて市民の浸水対策意識の啓発)

###### メニュー3 超過降雨への対応

- メニュー2の推進
- 事前の情報提供による自助の促進等

フォローアップ  
(プラン推進の検証等)

## 2.2. 浸水対策の基本方針

浸水対策は、次の4点を基本方針とする。

### ① 静岡市雨水総合排水計画に基づく整備の推進

雨水排水の基幹的施設は、河川および下水道の排水施設であることから、速やかに雨水を排水するための流下・排水施設を雨水総合排水計画<sup>\*</sup>に基づき整備する。なお、計画降雨は次のとおりとする。

- 普通河川：5年確率降雨（時間雨量 63mm）
- 準用河川：5～10年確率降雨（時間雨量 63mm～73mm）
- 下水道：7年確率降雨（時間雨量 67mm）

なお、施設整備概成後、長期間が経過しているものについては、市街化の進行に伴う流出係数の増大等も考えられるため、計画の見直しを実施し、必要な施設整備を補足する。

※ 雨水総合排水計画：河川、下水道における雨水排水整備の基本となる計画  
旧計画：S47年度策定  
現計画：H10～16年度策定

### ② 雨水流出抑制対策の推進

河川や下水道の基幹施設整備には、多大な費用と時間を要することから、併せて雨水流出抑制対策を実施することにより着実な浸水被害の早期軽減を図る。

雨水流出抑制対策では、市所管施設への貯留・浸透施設の設置の他、国、県、その他の公共団体への施設設置の協力依頼、大規模民間施設（開発行為）への指導、ならびに各戸貯留・浸透施設等の設置促進を行う。

### ③ 超過降雨への対応

基幹施設の整備が概成した地区においても、近年の集中豪雨により大きな浸水被害が発生している。この様な地区については雨水流出抑制対策を推進する他、浸水シミュレーションなどにより、超過降雨における浸水状況の把握を行い、浸水想定区域を市民に事前に情報提供し、自助を促すこと等により浸水被害の軽減を図る。

### ④ 一、二級河川の整備促進

市所管の河川ならびに下水道の流出先である国、県が管理する一、二級河川について、未整備区間の事業促進や概成した河川の整備水準の向上をお願いする。

## 2.3. 浸水対策地区の位置付け

平成元年度～平成16年度までの浸水被害履歴から、市内41の地区を浸水対策地区と位置付け、雨水総合排水計画の重点的实施区域とした。

浸水対策地区として位置付けた41地区は図1に示すとおり。

なお、浸水対策の主務部局を河川部局と下水道部局に区分した上で、今後も協力体制のもと浸水被害の軽減に取り組む。

## 2.4. 計画期間

浸水被害の甚大さ、対策に対するニーズ、ならびに各種事業計画の策定期間等を考慮し、計画期間を以下のとおりとする。

- 第1期：平成17年度～平成21年度の5ヵ年
- 第2期：平成22年度～平成26年度の5ヵ年
- 第3期：平成27年度～平成30年度の4ヵ年
- 第4期：平成31年度(2019年度)～平成34年度(2022年度)の4ヵ年
- 残事業：平成35年度(2023年度)～



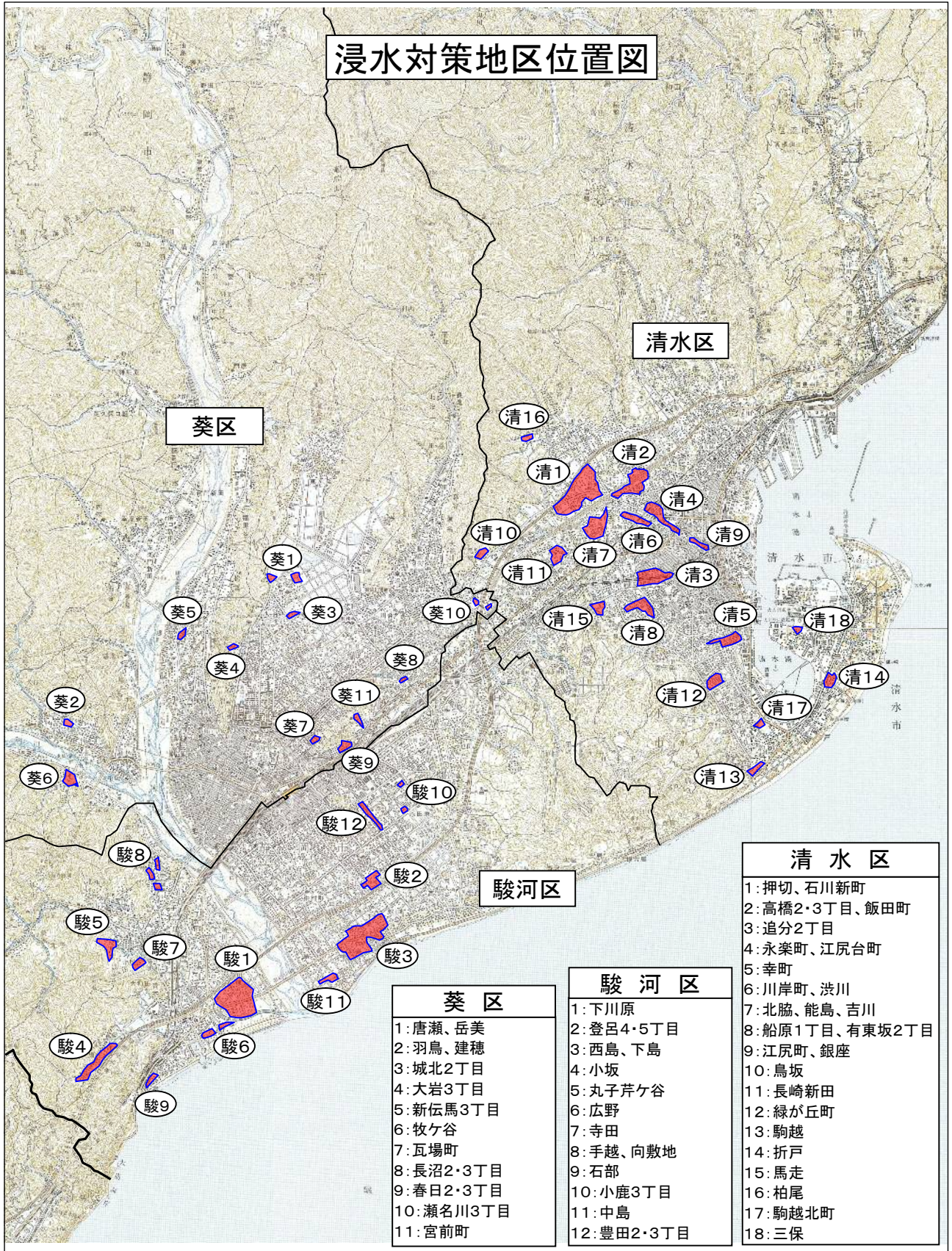


図 1 浸水対策地区位置図



## 2.5. 施設の整備水準と役割分担の考え方

降雨の大きさと、施設の整備水準と役割分担のイメージは、図 2 に示すとおりであり、基幹施設対策としては、おおむね 7 年に 1 度の降雨まで対応 (1/7 対応) し、併せて雨水流出抑制対策で整備する貯留施設等で超過降雨に対する浸水被害を軽減する。

なお、雨水流出抑制対策施設は、計画期間の中間年次においては、基幹施設対策が完了していないため、基幹施設 (現況と 1/7 の差の一部) を補完する役割を担うが、同最終年次には、1/7 を超過した降雨に対応する施設となる。

さらに、将来計画では河川、下水道の貯留施設等の設置により整備水準をおおむね 10 年に 1 度 (時間 73mm) を目標とする。ただし、この目標を超えた降雨の場合には一部浸水被害の発生が予想される。

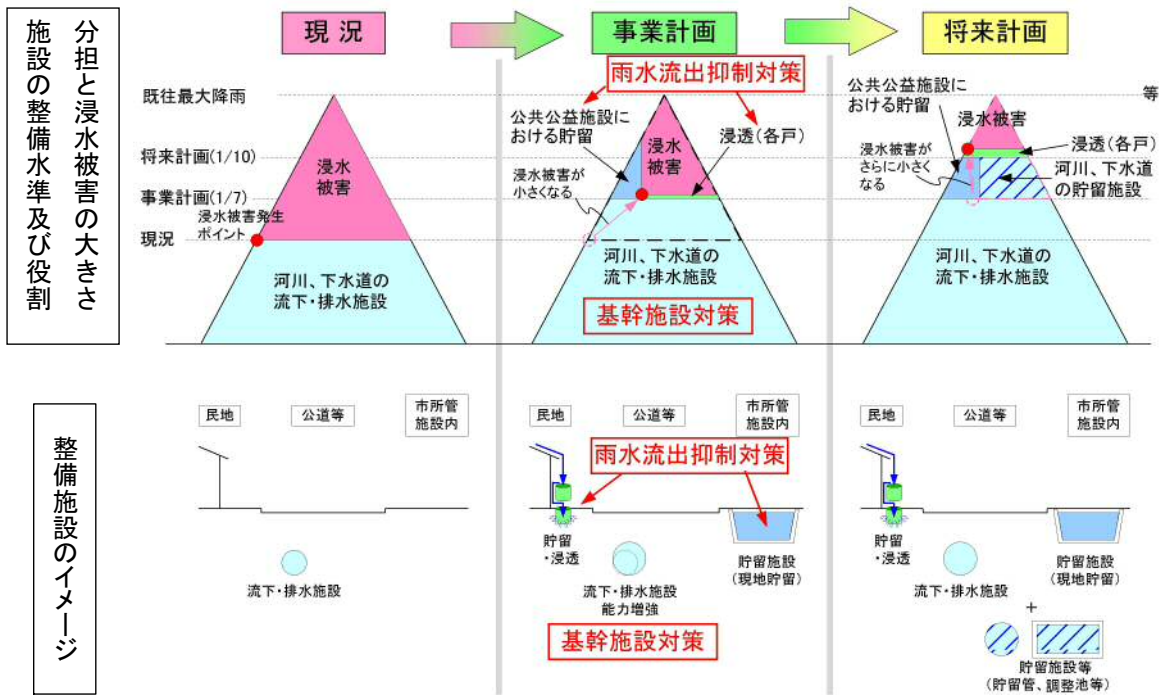


図 2 施設の整備水準及び役割分担と浸水被害



## 2.6. 対策の骨子

### (1) 基幹施設対策（メニュー１）【建設局、上下水道局】

- 平成元年～16年度までの浸水被害履歴から、市内41の地区を浸水対策地区として位置付け、静岡市雨水総合排水計画に基づく河川・下水道などの基幹施設を重点投資により推進する。
- 浸水対策施設整備実施計画

	第1期 (H17～ H21)	第2期 (H22～ H26)	第3期 (H27～ H30)	合計	第4期 (H31(2019) ～H34(2022))	残事業 (H35(2023)～)	総計
事業費（億円）	73	136	117	326	126	207	659
対策完了地区数	10	6	8	24	4	13	41

- ※ すべての地区について対策を着手することを前提に河川、下水道部局協力体制のもと、効率的効果的な整備を行う。
- ※ 第3期以降の事業費と対策完了地区数は現時点で見込まれる数値であり、今後変動することがあります。なお、第2期迄の数値は実績です。

### (2) 雨水流出抑制対策（メニュー２）【都市局、教育局、建設局、上下水道局】

#### ① 公共公益施設等への貯留・浸透施設の設置の推進

- 市所管施設、国県その他の公共団体、民間施設に対し、対策を促すとともに、甚大な被害が発生している3つの地区（巴川流域地区、下川原地区、登呂地区）を重点地区に指定し、市所管施設への対策を計画的に実施する。
- 雨水流出抑制対策重点地区実施計画（市所管施設）

	第1期 (H17～ H21)	第2期 (H22～ H26)	第3期 (H27～ H30)	合計	第4期 (H31(2019) ～H34(2022))	残事業 (H35(2023)～)	総計
事業費(億円)	7.0	11.1	4.2	22.3	4.8	33.7	60.8
施設数(学校、公園 ほか)	15	13	7	35	6	73	114

- ※ 第3期以降事業費と施設数は現時点で見込まれる数値であり、今後変動することがあります。なお、第2期迄の数値は実績です。

#### ② 各戸貯留・浸透施設の設置促進

- 雨水流出抑制の全市的な取組みの一環として、要綱に基づき各戸貯留浸透施設の整備を促進する。
- 併せて市民の浸水対策に対する意識の啓発を促す。
- 各戸貯留・浸透施設整備に対する補助制度の拡充の検討。  
 <雨水浸透施設／雨水貯留タンク／不用浄化槽転用施設など>

(3) 超過降雨への対応（メニュー3）【総務局、建設局、上下水道局】

- 流出解析などで超過降雨時の浸水状況等を把握し、ハザードマップを作成・配布することで、市民の防災意識の向上を図る。また出水時の水害危険性の周知のため、水位計や量水標を設置し、情報提供を行い、自助を促すこと等により浸水被害の軽減を図る。

2.6.1. 基幹施設対策（メニュー1）【建設局、上下水道局】

(1) 対策施設

基幹施設対策では、「雨水総合排水計画」に基づき、おおむね、7年に1度の降雨（時間雨量67mm）に対し、浸水が生じないための施設整備を進める。

また、整備する施設はおおむね次のとおりとする。

表1 基幹施設対策における対策施設

根幹的施設		排水施設等の改善など
河川	河川の改修 貯留施設等	ボトルネックの解消 側溝改良
下水道	雨水幹線 ポンプ施設等	雨水ますの増設

(2) 実施時期と事業費

対策完了時期ごとの地区数ならびに期別事業費を表2に示す。

表2 対策完了時期ごとの地区数ならびに期別事業費

完了区分	地区数	事業費(億円)					合計
		第1期 (H17 -H21)	第2期 (H22 -H26)	第3期 (H27 -H30)	第4期 (H31-H34) (2019-2022)	残事業 (H35～ ) (2023～ )	
第1期完了箇所	10	24	—	—	—	—	24
第2期完了箇所	6	11	16	—	—	—	27
第3期完了箇所	8	12	51	19	—	—	82
第4期完了箇所	4	1	15	59	65	—	140
H35(2023)年～ 完了箇所	13	25	54	39	61	207	386
合計	41	73	136	117	126	207	659

※ 第3期以降の事業費と対策完了地区数は現時点で見込まれる数値であり、今後変動することがあります。なお、第2期迄の数値は実績です。

(3) 浸水対策施設整備実施計画

行政区ごとの地区別浸水対策施設整備実施計画を、表3～表5に示す。

表3 地区別浸水対策施設整備実施計画：葵区

地区番号	地区名	浸水実績 (H16年度～ H18年度)	主務部局	実績			計画		
				第1期 H17-H21	第2期 H22-H26	第3期 H27-H30	第4期 H31-H34 (2019～2022)	残事業 H35～ (2023～)	
葵1	香瀬、岳美	床F132戸 床F208戸 計340戸	河川	【河】ポンプ給設設計 【河】二七曲川ポンプ設置(H19) 【河】一ノ次門川改修	【河】唐瀬ポンプ施設整備(H24) 【河】鶴山ポンプ施設整備	【河】鶴山ポンプ施設整備(H27)			
葵2	羽后、蓮純	床F80戸 床F98戸 計178戸	河川	【河】一ノ次門川改修	【河】一ノ次門川改修(H28)				
葵3	麻北2丁目	床L37戸 床F211戸 計248戸	下水道	【河】(流)安東川改修(H17)、水路整備(H19) 【下】唐瀬2号雨水幹線整備(H21)		【下】唐瀬1号雨水幹線設計	【下】唐瀬1号雨水幹線整備	【下】唐瀬1号雨水幹線整備	
葵4	大岩3丁目	床L27戸 床F59戸 計86戸	下水道	【河】(流)安東川改修 【下】(下流側)管渠設計、整備	【下】(下流側)管渠整備			【下】(上流側)管渠設計、整備	
葵5	新立坂3丁目	床L31戸 床F93戸 計124戸	河川	【河】関係機関協議			【河】一ノ次門川改修	【河】一ノ次門川改修	
葵6	枚ヶ台	床L14戸 床F96戸 計110戸	河川	【河】ハイパス水路整備	【河】ハイパス水路整備(H22) 【河】水路整備(H24)				
葵7	瓦崎町	床L16戸 床F34戸 計50戸	下水道	【河】水路整備(H16) 【下】(下流側)管渠基本設計 【道】側溝整備(H18)	【下】(下流側)管渠詳細設計、整備(H25)	【下】(上流側)管渠設計、整備(H30)			
葵8	豊忍2・3丁目	床L14戸 床F17戸 計31戸	下水道	【下】葵呂川雨水幹線整備(H18)					
葵9	香2・3丁目	床L7戸 床F30戸 計37戸	下水道	【河】水路整備(H17) 【下】東特岡北雨水幹線整備 【道】側溝整備	【下】東特岡北雨水幹線設計、整備	【下】東特岡北雨水幹線整備(H28)			
葵10	新名川3丁目	床L7戸 床F13戸 計20戸	河川	【河】(二)海名新川改修(H16)					
葵11	香町町	床L4戸 床F19戸 計23戸	河川	【河】水路整備	【河】水路整備(H23)				
				河川 6 下水道 5	工事実施地区：10地区 完了地区：2/11地区	工事実施地区：7地区 完了地区：4/11地区	工事実施地区：5地区 完了地区：8/11地区	工事実施地区：2地区 完了地区：8/11地区	工事実施地区：3地区 完了地区：11/11地区

第1期(H17～H21)が完了した地区  
第2期(H22～H26)が完了した地区  
第3期(H27～H30)が完了した地区  
第4期(H31～H34)完了した地区  
H35以降が完了予定地区

表 4 地区別浸水対策施設整備実施計画：駿河区

【駿河区】

地区番号	地区名	浸水実績 (H1年度～ H16年度)	主務部局	実績				計画
				第1期 H17～H21	第2期 H22～H26	第3期 H27～H30	第4期 H31～H34 (2019～2022)	
駿1	下川原	床上323戸 床下361戸 計684戸	下水道	【下】基本計画、貯留管基本設計 【下】下山原雨水ポンプ場のポンプ増設(H17)	【下】貯留管詳細設計、整備	【下】貯留管整備(H27)		
駿2	笠呂4・5丁目	床上86戸 床下111戸 計197戸	下水道	【下】高松3号雨水幹線、管渠整備(H21)				
駿3	西島、下島	床上47戸 床下179戸 計226戸	河川	【河】(二)浜川改修 【河】西島、西島地区ポンプ施設整備(H25) 【河】下島橋架替				【河】(二)浜川改修、念仏橋架替
駿4	小坂	床上48戸 床下166戸 計214戸	河川	【河】普小坂川改修	【河】普小坂川改修(H23)			
駿5	丸子井ヶ谷	床上64戸 床下91戸 計155戸	下水道	【河】水路整備(H19) 【下】北部管渠整備(H21) 【保】急傾斜地対策、砂防事業	【下】(南側)管渠整備、ポンプ施設整備(H25) 【保】急傾斜地対策、砂防事業(H23)			
駿6	広野	床上37戸 床下119戸 計156戸	下水道	【下】事業認可、広野2・3号雨水幹線設計	【下】広野2・3号雨水幹線設計、地質調査	【下】広野2・3号雨水幹線整備		
駿7	寺田	床上50戸 床下17戸 計67戸	下水道	【河】水路整備(H18) 【下】管渠設計、ポンプ施設設計	【下】管渠整備(H24)、ポンプ施設整備(H23)			
駿8	手越・向歌地	床上23戸 床下72戸 計95戸	下水道	【下】管渠基本設計 【道】創溝整備(H20)	【下】管渠詳細設計、整備(H24)			
駿9	石部	床上5戸 床下21戸 計26戸	下水道	【下】管渠整備(H22)				
駿10	小鹿3丁目	床上4戸 床下17戸 計21戸	下水道	【下】基本計画、管渠基本設計 【道】創溝取付管改良(H20)	【下】管渠詳細設計、整備	【下】管渠整備		
駿11	中島	床上3戸 床下19戸 計22戸	下水道	【下】基本計画、管渠設計、整備 【下】中島雨水ポンプ場のポンプ増設(H20)	【河】ポンプ施設整備(H26) 【下】管渠整備(H24)			
駿12	豊田2・3丁目	床上1戸 床下17戸 計18戸	下水道	【下】基本計画、管渠基本設計 【道】創溝取付管改良(H20)	【下】管渠詳細設計、整備	【下】管渠整備		

第1期(H17～H21)対象完了地区  
第2期(H22～H26)対象完了地区  
第3期(H27～H30)完了予定地区  
第4期(H31～H34)完了予定地区  
H35以降完了予定地区

河川	11地区	7地区	6地区	4地区	1地区
下水道	2/12地区	6/12地区	8/12地区	11/12地区	1/12地区
10					



表5 地区別浸水対策施設整備実施計画：清水区

【清水区】

地区番号	地区名	浸水実績 (H1年度～ H16年度)	主務 部署	実績				計画	
				第1期 H17～H21	第2期 H22～H26	第3期 H27～H30	第4期 H31～H34 (2019～2022)	残事業 H35～ (2023～)	
清1	神辺・石川新町	床F60戸 床下383戸 計443戸	下 水 道	【河】普光内川改修 【河】基本計画 【下】認可設計	【河】普光内川改修 【河】基本計画決定、下水道事業認可 【下】都市計画決定、下水道事業認可 【下】山原山左衛門水1号幹線設計、整備(H26)	【河】大内川改修(H30) 【河】和田川改修	【河】和田川改修 【下】能高雨水ポンプ場設計、整備	【下】能高雨水ポンプ場整備	
清2	高橋2・3丁目・飯田町	床F87戸 床下186戸 計273戸	下 水 道	【下】基本計画、認可設計	【下】高橋雨水ポンプ場整備 【下】山原山左衛門水1号幹線整備(H26)				
清3	塩分2丁目	床F166戸 床下144戸 計310戸	下 水 道	【下】管渠基本計画	【下】入江雨水1号幹線等設計				
清4	永楽町・江原台町	床F99戸 床下99戸 計198戸	下 水 道	【河】花の不排水機場改良(H18) 【下】認可設計					
清5	幸町	床F47戸 床下66戸 計113戸	河 川	【河】(渠)常念川改修(H21) 【道】宮下橋架設					
清6	川岸町・栄川	床F40戸 床下146戸 計186戸	下 水 道	【下】認可設計	【下】都市計画決定、下水道事業認可	【河】雨水ポンプ場設計 【下】巴川右岸雨水2-1号幹線設計		【下】赤川雨水ポンプ場整備 【下】巴川右岸雨水2-1号幹線整備	
清7	北郷・吉川・能島	床F37戸 床下68戸 計105戸	下 水 道	【下】認可設計				【下】下水道事業計画変更	
清8	船橋1丁目・青栗坂2丁目	床F16戸 床下98戸 計114戸	河 川	【河】ため池改良(H17) 【河】白部川バイパス水絡整備(H21)					
清9	江原町・船庭	床F26戸 床下31戸 計57戸	下 水 道	【下】基本計画				【下】管渠基本設計	
清10	船坂	床F22戸 床下72戸 計94戸	河 川	【河】水絡整備(H20)					
清11	長崎新田	床F17戸 床下31戸 計48戸	下 水 道	【河】(渠)四方沢川バラット施設(H20) 【下】認可設計	【下】都市計画決定、下水道事業認可		【下】長崎新田雨水ポンプ場設計 【下】管渠設計	【下】長崎新田雨水ポンプ場整備 【下】管渠整備	
清12	静か石町	床F11戸 床下73戸 計84戸	河 川	【河】ため池改良(H19) 【河】(普)柳ヶ谷川改修(H19)					
清13	柳越	床F10戸 床下45戸 計55戸	下 水 道	【下】柳越西1号雨水幹線整備(H19)					
清14	折戸	床F7戸 床下33戸 計40戸	下 水 道	【河】水絡整備(H19) 【下】事業認可変更、折戸1号雨水幹線整備	【下】折戸1号雨水幹線等整備(H30)				
清15	馬走	床F9戸 床下22戸 計31戸	河 川	【河】ため池改良(H21)	【河】(渠)谷津沢川改修		【河】(渠)谷津沢川改修		
清16	柏尾	床F7戸 床下30戸 計37戸	河 川	【道】柳溝整備(H19) 【河】水絡設計	【河】普光福寺沢改修、ポンプ場設計 【河】(普)山ノ海川改修(H26)				
清17	柳越北町	床F9戸 床下7戸 計16戸	河 川	【河】ポンプ改良(H19)					
清18	三保	床F3戸 床下24戸 計27戸	下 水 道	【下】管渠、ポンプ施設基本設計			【下】管渠、ポンプ施設詳細設計	【下】管渠、ポンプ施設整備	

第1期(H17～H21)対象完了地区  
第2期(H22～H26)対象完了地区  
第3期(H27～H30)対象完了地区  
第4期(H31～H34)完了予定地区  
H35以降完了予定地区

河川	河川	河川	河川	河川	河川	河川	河川	河川
7	15	11	19	5	8	9	5	9
下水道	下水道	下水道	下水道	下水道	下水道	下水道	下水道	下水道
完了地区：6/18地区	完了地区：10/41地区	完了地区：6/18地区	完了地区：16/41地区	完了地区：6/18地区	完了地区：24/41地区	完了地区：9/18地区	完了地区：9/18地区	完了地区：18/18地区
河川	河川	河川	河川	河川	河川	河川	河川	河川
15	26	11	19	5	8	9	5	9
下水道	下水道	下水道	下水道	下水道	下水道	下水道	下水道	下水道
完了地区：10/41地区	完了地区：16/41地区	完了地区：6/18地区	完了地区：16/41地区	完了地区：6/18地区	完了地区：24/41地区	完了地区：9/18地区	完了地区：9/18地区	完了地区：18/18地区

3区合計  
(静岡市全域)

## 2.6.2. 雨水流出抑制対策（メニュー２）

### 【都市局、教育局、建設局、上下水道局】

#### (1) 雨水流出抑制対策

雨水流出抑制対策は、図 3 に示すように、河川や下水道で従来から行ってきた流下・排水施設だけでは排水しきれない雨水を、河川や下水道の施設に入る前に一時的に貯留、または地下に浸透させる施設を設置することである。

河川や下水道に入る雨水を少なくできるため、浸水被害を軽減する効果がある。

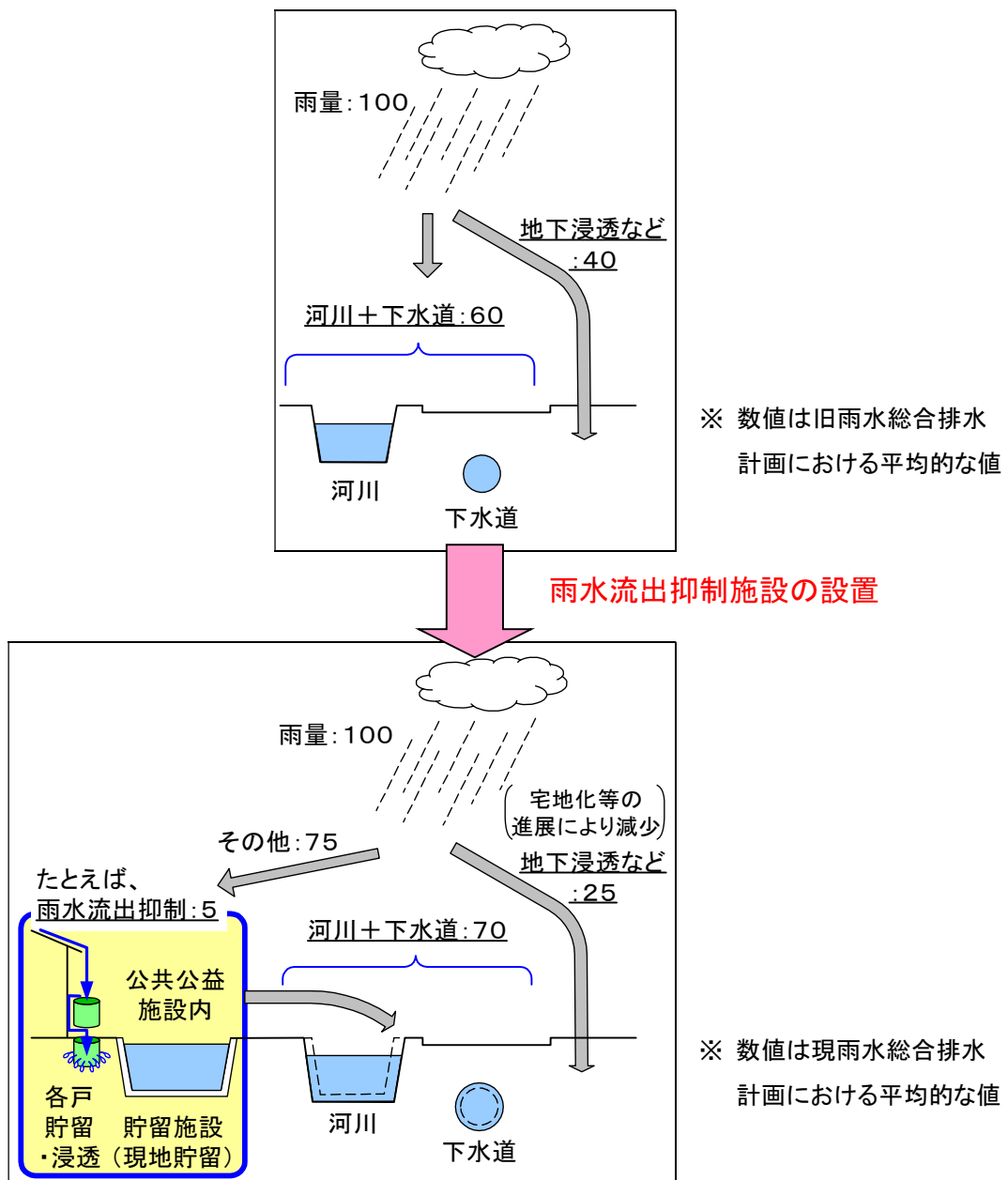


図 3 雨水流出抑制対策施設のイメージ図


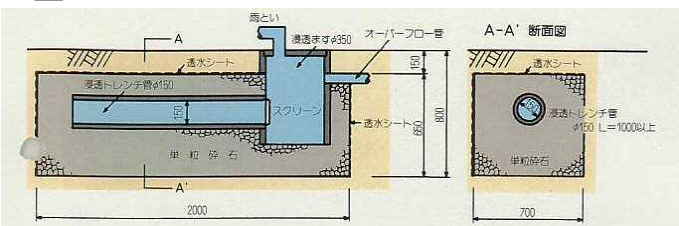
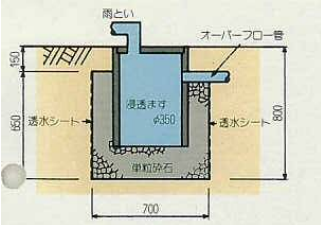
## (2) 流出抑制の対象と対策

雨水流出抑制対策では、①市所管施設における貯留・浸透施設の整備、②市所管施設以外の公共公益施設における貯留・浸透施設の整備に対する協力依頼、③大規模民間施設における貯留・浸透施設の設置指導、ならびに④各戸貯留・浸透施設の設置促進を行う（表 3、表 4 参照）。

表 3 流出抑制の対象と対策

対象（設置場所）	対策方法（市の取り組み）	備考
①市所管施設	貯留・浸透施設の <u>設置</u>	—
②市所管以外の 公共公益施設	貯留・浸透施設の設置の <u>協力依頼</u>	—
③大規模民間施設	貯留・浸透施設の設置の <u>指導</u>	市街化区域：1,000m <sup>2</sup> 以上 市街化調整区域：500m <sup>2</sup> 以上
④各戸	貯留・浸透施設の設置の <u>促進</u>	補助制度の拡充の検討

表 4 対策施設の事例等

設置場所	対策施設例	具体的イメージ
①市所管施設	校庭貯留	 <p>市立竜南小学校の事例(平成 26 年 10 月台風 18 号)</p>
④各戸	雨水浸透施設 (現行補助制度)	<p>A 型</p>  <p>B 型</p> 

### (3) 雨水流出抑制対策の推進に向けて

雨水流出抑制対策の確実な推進のため、『静岡市雨水流出抑制対策要綱』を制定する。

また、各戸における貯留・浸透施設の設置促進のため、『静岡市雨水貯留浸透施設整備事業費補助金交付要綱』の改訂（補助制度の拡充）を行う。

### (4) 雨水流出抑制対策重点地区の指定

『静岡市雨水流出抑制対策要綱』に基づき、以下の理由により3地区を雨水流出抑制対策重点地区に指定し、市所管施設について計画的に対策施設の整備を行う。

・従来から『巴川新流域整備計画』に基づき、対策を実施してきた地区	→	① 巴川流域地区
・特に浸水被害の規模が大きい地区の内、浸水地区周辺に公共公益施設が存在し、流出抑制効果が期待できる地区	→	② 下川原地区 ③ 登呂地区

なお、市所管施設以外の公共公益施設、大規模民間施設及び各戸における貯留・浸透施設の設置についてもそれぞれ協力依頼、指導、促進を行う。

重点地区位置図を図4に示す。

### (5) 雨水流出抑制対策重点地区実施計画（市所管施設）

計画の概要を表5に示す。

表5 雨水流出抑制対策重点地区実施計画（市所管施設）

	第1期 (H17～ H21)	第2期 (H22～ H26)	第3期 (H27～ H30)	合計	第4期 (H31(2019) ～H34(2022))	残事業 (H35(2023)～)	総計
事業費(億円)	7.0	11.1	4.2	22.3	4.8	33.7	60.8
施設数(学校、公園 ほか)	15	13	7	35	6	73	114

※ 第3期以降の事業費と施設数は現時点で見込まれる数値であり、今後変動することがあります。なお、第2期迄の数値は実績です。



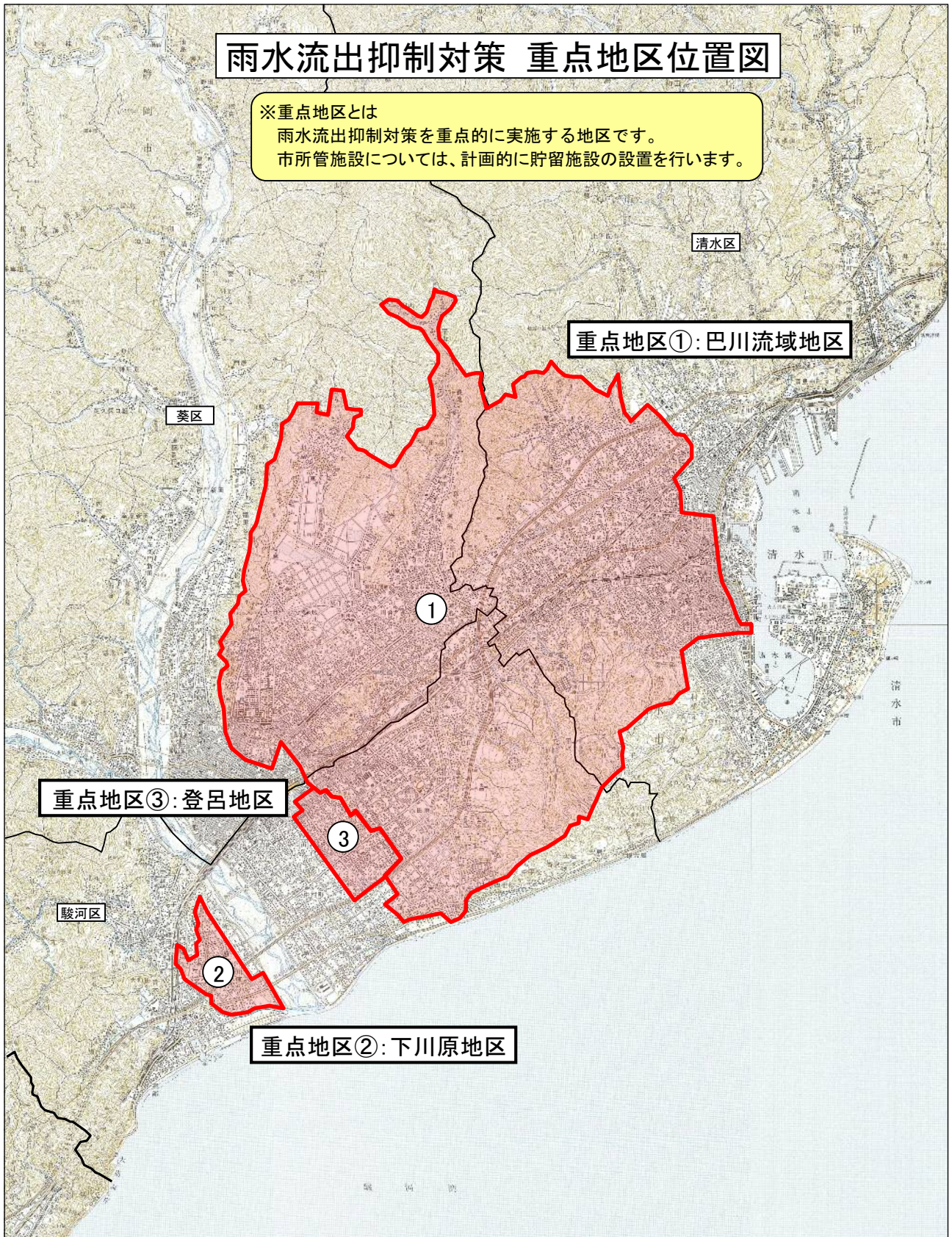


図 4 流出抑制対策重点地区位置図



### 2.6.3. 超過降雨への対応（メニュー3）【総務局、建設局、上下水道局】

---

#### (1) ハザードマップ

大規模河川が決壊した場合や内水氾濫で想定される浸水被害の状況をそれぞれ示すハザードマップを作成し、平時における防災の備えとして活用してもらうため、対象地域の市民に配布する。市政出前講座などの広報活動を行う。

#### (2) 水害危険性の周知

日頃より地域住民の河川に対する防災意識を持ってもらい、豪雨時には水位情報を取得するため、市管理の主要河川に量水標や水位計の設置を行う。

## 2.7. 浸水対策推進プランの効果

